

	到達目標	S	A	B	C	D
1	領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、説明できる。 (C1)	言葉の発達や獲得に関する専門用語を正確に使用し、関連する研究や理論を引用しながら、言葉のねらいや内容について包括的かつ深い理解を示し、明確に説明する。	言葉の発達や獲得に関する基本的な概念を説明し、関連する例や事実を挙げながら、言葉のねらいや内容について適切な理解を示し、一般的な説明をする。	言葉の発達や獲得に関する一般的な概念を簡潔に説明しながら、言葉のねらいや内容について基本的な理解をしている。	言葉のねらいや内容について一部の理解を示すが、説明があいまいであり、特に詳細が不足している。	言葉のねらいや内容に関する理解が乏しく、説明が不明瞭であり、関連する事実や例がほとんど示せない。
2	情報機器及び教育教材の使用方法について理解し活用できる。(C2)	複数の情報機器や教材を組み合わせて教育的な活動を計画し、効果的に活用できる。	特定の情報機器や教材を使用して教育的な活動を計画し、活用できる。	特定の情報機器や教材を使用して教育的な活動を簡単に計画し、実施できる。	情報機器や教育教材の使用方法について基本的な理解を示すが、十分に活用できない。	情報機器や教育教材の使用方法に関する理解が乏しく、活用できない。
3	具体的な指導場面を想定して保育を構想することができる。(C2)	発達段階や個々のニーズに合わせて活動や教材を選択し、効果的な保育を構想できる。	発達段階やニーズを考慮して活動や教材を選択し、保育を適切に構想できる。	発達段階や一般的なニーズを考慮して活動や教材を選択し、保育を構想できる。	具体的な指導場面について理解を示すが、保育の構想が不完全である。	具体的な指導場面に関する理解が乏しく、保育の構想が不明確である。